

# 競技注意事項

ここで示す注意事項は競技運営には欠かすことのできない、必須事項ですので熟読いただき、競技運営が円滑にできますようご協力願います。

## \*新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、静岡県の警戒レベルは4月1日現在レベル4であり県内警戒・県外警戒であります。この環境下で競技会を実施するにあたり、競技者の皆様方には煩わしい手続きや、防疫対策を実施致しますが安全安心の担保のため、格段のご協力をお願いします。

- ① 競技会については、自治体の警戒レベルにより中止することやプログラムの変更を余儀なくされる場合があるので常にホームページで確認すること。
- ② 競技会の運営は（公財）日本陸上競技連盟の運営ガイダンスに基づき実施されるので、下記にに従うこと。
  - ・無観客での開催が条件です。（友人・知人・親内縁者・付添者はスタジアム内には入場厳禁）
  - ・競技中以外はマスクを装着することを義務とする。
  - ・大会当日2週間前から、受付時提出書類（体調管理表）のガイダンスに従い記帳する。
  - ・大会当日の体温が37℃未満であること。
  - ・受付時に事前体調管理表を提出すること。（提出がない場合は出場できない）
  - ・受付時には手指の消毒、体温チェックを受けること。
  - ・受付条件が満足であれば、受付済のリボンが渡されるので左肩に取付ること（装着が無い方は出入りができない）
  - ・ロッカールームは使えるがソーシャルディスタンスを確保すること。
  - ・競技者が2階スタンドに出入りゲートは正面屋外階段1か所のみを利用すること。
  - ・スタジアム内1階のフィールドコーナーにある通路部分には跳躍種目競技者以外は入れない。（競技者以外は全て正面スタンドで観戦する）
  - ・競技者は脱衣が終われば正面スタンドに移動して控えること。
  - ・競技者が応援する場合は声を出さず、拍手のみとする。
  - ・競技時の備品利用はその都度競技役員が消毒行為を行う。（スタプロ・投擲用具など）
  - ・競技終了後のリザルトは掲示しないのでホームページを閲覧すること。
  - ・賞状の授与は行わない。（特設コーナーから自己判断で持ち帰ること、また持ち帰りが無い場合は主催者で処分する）
  - ・競技終了後、2週間の体調経過報告書を受付コーナーから持ち帰り、体調の経過観察の記入をすること（2週間後にFAXにて提出すること。FAX 054-71-0789）
  - ・万一コロナウイルス感染が疑われた場合は最寄りの保健所の指示に従い、その後の追跡調査に協力願うことになる（自己責任の範疇であることを承知方）

## 1. 競技規則について

本大会は、2021年（公財）日本陸上連盟規則、日本マスターズ陸上競技連合規則、コロナウイルス感染防止ガイダンス、県民スポレク祭（兼）静岡マスターズオープン陸上競技大会要項、および競技注意事項により実施する。

## 2. 競技者の招集について

競技に出場する競技者は（以下競技者という）競技者招集所において競技者係に出場の手続きを行い、点呼を受けなければならない。その手続きは下表の定められた時刻に必ず下記の手続きを行うこと。招集漏れの救済は一切いたしません。

① 招集時刻は、プログラム日程に示された競技開始時刻を基準に下記の時刻とする。

種目		招集開始時刻	召集所完了時刻
トラック競技	各クラス・各種目	競技開始時刻 30 分前	競技開始時刻 20 分前
フィールド競技	各クラス・各種目	競技開始時刻 50 分前	競技開始時刻 40 分前

- ② 招集は競技者本人が出場する意思を申告するものであり、代理者の招集は認めない。
- ③ 上記の手続きを終了した競技者は、指定された場所で待機して、最終点呼を受けて係員の指示により入場する。
- ④ 同時刻帯に他の種目に出場する場合で重複種目の招集時刻に手続きが困難の場合は先行種目の招集時刻に同時招集が出来る。

⑤招集完了時刻までに所定の手続きを完了しない競技者は、当該種目を棄権したものとする。(救済は一切しない)

### 3. 練習について

- ①練習は投擲競技の練習試技および走り高跳びの練習試技を除きすべて補助競技場で行う。
- ②投擲競技の練習試技および跳躍競技の練習試技は競技ピットに入場後、審判員の指揮により2回まで練習ができる。

### 4. 競技について

- ・ナンバーカードは自県登録番号で胸部および背部に安全ピンで四方を固定し取り付ける。
- ・トラック競技に於いては、800m以上の写真判定用の腰ナンバーを招集所で貸与するので、必ず右側に固定する。
- ・草薙競技場規則により、補助競技場も含めてスパイクピンの長さは、トラック9mm以下、フィールドは12mm以下の競技用のスパイクを使用すること。
- ・スパイクを履いたまま、建物運営ゾーンに入らないこと。
- ・トラック競技者はスタート位置以外の走路外でスパイクを履いたまま、スタートダッシュは禁止する。
- ・ハードルのスタート前練習は2台までとする。
- ・走幅跳の踏切板は規定の2mで行う。なおMの三段跳の踏切板は13m・11m・9m・とする。但しM80歳以上は7mの臨時踏切板、W三段跳の踏切板は11m・9m・7m・とする。但しW80歳以上は5mの踏切板を使用できる。尚、MW80以下でも臨時踏切の使用が必要であれば試技前に審判員に申告して変更ができる。尚、MW80以下でも試技前に審判員に申告してMWの基準に従い試技できる。但しラウンド中の変更は認められない。
- ・トラック競技の判定は写真判定装置で行う。
- ・不正スタートは1回目で失格となる。
- ・スタート言語は英語が原則となる。
- ・スタート方法はMWとも80歳以上はスタンディング・クラウチングどちらかを選択できる。但しスタンディングの場合は日本陸連公認記録には認められない。
- ・フィールド競技の持ち時間は30秒となる。
- ・高さの跳躍競技において、最低のバーの高さは以下の通りとする。M走高跳100cm・W80cm M棒高跳1m80cm・W棒高跳1m50cm 最初のバーの高さおよび上げ幅は記載が義務付けである。
- ・踏立五段跳の切板はM7m・11m・13m・W5m・7m・11mとする。
- ・男女3000mWは男子20分女子30分の制限時間を設け、制限時間を超過した400mゴール点で該当競技者に通告する。
- ・投擲競技の用器具の重量およびハードル競技の高さ、インターバルは全日本マスターズ競技連盟の規則に準ずる。別表を参照ください
- ・投擲競技はすべて競技場備え付けの器具を使用する。
- ・跳躍競技(走高跳を除く)および投擲競技の試技は全員が4回の試技で順位を決める。
- ・競技に於いて優勝者が同順位の場合は年齢差により決定する。
- ・本競技会は事故防止のため「競技の出場又は続行が危険」と判断した場合はセーフティ審判員が競技の中止を勧告するので従わなければならない。判定に従わない場合は記録や順位は認めない。
- ・本競技会における抗議については、日本陸連規則を準用して競技者が審判長に申告するも判定に従うこととし上訴は行わない。

### 5. 表彰について

- ・各種目・各年齢クラスの1位～3位に賞状を授与する。静岡県内競技者の最上位者にスポレク優勝賞状を授与する。記録証は希望者に1種目500円で交付します。

### 6. その他について

- ・今大会の競技中に発生した疾病はメインスタンド医務室で応急処置を行うがその後の医療行為は負わない。万一に備え1日リクレーション保険に加入するので、保険証持参してください。
- ・事前に健康診断を受けて、自己の健康に十分留意して出場する事。
- ・紙屑、弁当ガラなどのごみは「来た時より綺麗」をモットーに、持ち帰り運動にご協力ください。

### 7. 個人情報保護法について

本大会主催者はこの大会に参加する総ての競技者の個人情報を競技運営に必要とする要件などに利用する。また競技者は大会プログラム・インターネットおよび映像(肖像権)に姓名・年齢・所属および大会成績が掲載・転載により公開される事を承知願います。